

目 次

I. 総合研究報告

早老症の医療水準やQOL向上を目指す集学的研究

代表研究者 横手 幸太郎

(資料1) Management guideline for Werner syndrome 2020

(資料2) Fibroblasts from different body parts exhibit distinct phenotypes in adult progeria Werner syndrome

(資料3) Time gap between the onset and diagnosis in Werner syndrome: a nationwide survey and the 2020 registry in Japan

II. 分担研究報告

1. ウェルナー症候群：診療の質および患者QOL向上を目指した研究

分担研究者 竹本 稔

分担研究者 葛谷 雅文

分担研究者 中神 啓徳

分担研究者 窪田 吉孝

分担研究者 茂木 精一郎

分担研究者 谷口 俊文

分担研究者 谷口 晃

分担研究者 忍足 俊幸

(資料1) ウェルナー症候群パンフレット

2. ハッチンソン・ギルフォード症候群: 指定難病の承認と国内向け疾患啓発の取り組み

分担研究者 井原 健二

分担研究者 松尾 宗明

分担研究者 小崎 里華

(資料1) (臨床調査個人票)ハッチンソン・ギルフォード症候群

(資料2) プロジェリアハンドブック(日本語版) 1

(資料3) ハッチンソン・ギルフォード症候群ホームページ

(資料4) HGPSホームページ

(資料5) GRJ HGPS

3. ロスマンド・トムソン症候群の全国実態調査

分担研究者 金子 英雄

4. 研究成果の刊行に関する一覧表